# みんなのひろば

## VOICE

「喜・怒・哀・楽」

VOICEは、「喜怒哀楽」のとおり、嬉しいこと、悲しいことなど身近にあった話題や感じたことなど皆さんからのお便りを掲載します。疑問に感じていることでも結構です。皆さんの投稿をお待ちしています。

### VOICE 1 表紙について

市報とうみ、毎月楽しみに見させていただいています。6月号の表紙写真は横組みでしたが縦のほうが見やすいと思いますが・・・。（匿名）

貴重なご意見、ありがとうございます。表紙はこれまでほとんど縦の写真が多かったのですが、イメージチェンジでA4の横組みにしてみました。伝えたい写真の様子が縦と横とでは違う場合があることをご理解ください。ちなみに全国の広報紙ではA4横組みの写真を取り入れているところが多くあることから試してみました。（広報担当）

### VOICE 2 紫の君

「あら　今日は。ミネ子さんじゃあないの。久しぶり。お元気ですか」

「あ、圭子さん。本当にお久しぶり。十年位たったかね。もう皺くちゃばあさん。やっと息をしてるの。だめだめ…もうじき死ぬんじゃあない」

スーパーの一角。買い物帰りの二人である。

「何言ってるの。往年の紫の君じゃあないの」

「あれ。ま。なつかしい。私のこと、紫の君なんて言ってくれる人、もう地球上にあんた一人になったわ。ありがとう」

「かつては、あんたにあこがれた人もいたよ」

「うそ、うそ、いない、いない」

「あんたは顔はさほどでないが、スタイルがよくて、足がすらりとして遠くで見るときれいだった」

「いらんこと言うな」

「忘れもしない、ある小雨の日だった。紫色のスーツを着て、少し色調の違う紫色のパラソルさして歩いていたんだよ。あんたが。覚えている？」

「いない。いない。だがそのスーツは気にいってまだしまってある。パラソルも大事にしていてまだあるよ。」

「それよ。やはり自分でもいいと思っていたんだ」

「パラソルで顔が見えないからとてもステキだった」

「顔が見えなくて悪かったね。」

「それを数人で眺めていたんだよ。その時に紫の君とあだ名が付いたんだよ。知らなかった？」

「知らない、知らない。だがわざわざ教えに来てくれた人もいたんだよ」

「じゃあ知っていたんだ」

「うすうすね。その人とても親切でね。わざわざ言いに来てくれた『でもねミネ子さん、文学レディーと言う意味ではないから自惚れないで』って。ああ嫌な思い出よ」

「それこそ『いらんこと言うな』と言ってやればよかったに」

「ほんと。ああ残念無念」

「だがね。文学レディーだといってあこがれていた人もあったんだよ」

「いない、いない」

「いたよ」

「どこに」

「会計室の何とかさん。苦虫を噛み潰したような人さ」

「あの人がね。苦虫を噛み潰した顔で軽蔑しながら、チラッとほめていたよ」よどみなく圭子はしゃべる。

「軽蔑しながらほめるって、何よ」

「それが、あこがれている証拠よ、いや惚れていたのかな」

「よく言うわ」

「惚れていると悪口言うんだよ。てれくさいから。あんた知らないかね。その人」

「知っているよ、私は『憂い顔の騎士』って呼んでいたんだよ。それって、私の主人なのよ」

「ウソーッ。こりゃ大変だ。ごめんごめん。」

「いいさ。夫が妻にほれているなら天下太平、こんなめでたいことないじゃあない。あれで、わりかしピュア（純情）でね。夢よもう一度。昔はめでたかった」

「今だって充分めでたいに」

「いらんこと言うな。彼はもう死んでしまったよ。悪口言うと化けてでるよ」

「そりゃーいけなかった。あんた体を大事にして元気で長生きしてね。ご主人いや、なんとかの騎士の分までね」

「ああ　今日は甘くて苦くて酸っぱい目にあった。カルピスとコーヒーを一緒に御馳走になった。この次は圭子のロマンを聞くからね。お互いに健康で、もう少しお邪魔しようよ」

「何処へお邪魔するの？」

「地球の一角、東御市の片隅にさ。じゃあねー。バイバイ」

愉快な友、楽しかった・・夕べの風が涼しい。

城　峰子





# すくすく育ってとうみっ子!! 誕生日おめでとう！（6月、7月生まれ）

**土屋拳志郎**（つちやけんしろう）くん（片羽）
（1歳、 H15.6.12生）
仕事に行こうとすると、後を追って来るのでいつもうしろ髪をひかれる思いです。1歳になって、さらにわんぱく坊主になるんだろうね。たくさんのことを吸収して大きく成長してほしいな。

**小林明日架**（こばやしあすか）ちゃん（西宮）
（３歳、 H13.7.9生）
明日架は、みんなのお世話をするのが大好きです。最近のお気に入りは、泡まみれになりながら、お洗濯をすることです。大きくなってもパパの靴下洗ってくれるのかな？

**堀場咲吏**（ほりばさり）ちゃん（曽根）
（１歳、 H15.7.24生）
好奇心旺盛で怖いもの知らずの咲吏ちゃん。これからも仁衣奈お姉ちゃんと仲良くね。

**望月勝統**（もちづきかつのり）くん（新張）
（３歳、 H13.6.2生）
「もぉ３才になったんだな」と嬉しくもあり、少しの寂しさも感じる今日この頃です。来年は幼稚園生。頑張ろうネ。

※募集します。（対象者　8月誕生日）詳しくは市報とうみ№2・6月号をご覧ください。締め切りは7月12日(月)まで

### VOICE 3 出生・死亡欄は

これまでの広報・時報では出生・死亡は届出人の了解のもとに掲載していました。しかし、個人情報の漏えい防止やプライバシーの保護として記事掲載を止めることもこれまで何度となく検討してきました。今回市になり、①個人情報やプライバシーの保護、②掲載人数の増加に伴う記事スペースの確保、③広報委員や時報委員、広報モニターの皆さんから意見を聞いた結果、などから掲載しないことになった経緯があります。どうぞご了承ください。（市民課住民係）

これまでの広報では出生・死亡欄がありましたが、今後の広報では掲載する予定がありますのでしょうか。（匿名）

これまでの広報・時報では出生・死亡は届出人の了解のもとに掲載していました。しかし、個人情報の漏えい防止やプライバ

### VOICE 4 頑張るシルバー

今年度の上田地域シルバー人材センターの理事に所三郎さん、宮原直子さん、中山芳祐さんになりました。東御市所は東部支所と北御牧支所が統合され、新支所として門出を切りました。今後とも豊な経験と能力を生かし、働く喜びと社会参加をしていきたいと思います。（匿名）

## 心の眼（2）

### 確かな人権意識を

人権同和教育指導員　町田　勝

日常茶飯事のごとく繰り返される人権侵害の問題を聞くにつけ、現代社会が抱える課題を感じます。何故かくも同様な事が絶えず引き起こされるのか不思議でなりませんが、その要因と考えられるものはいくつかあります。

最大の要因は、自分中心に物事を考える風潮がより強くなってきていることだと思います。自分を中心に考えたとき、よって立つ判断はひとつであり、一方向だけで物事を見、判断することになります。さらには感情の起伏がありますから、時には冷静さを欠き、一方的な言動に走ることにもなりましょう。

他方、我が身を相手に寄せて物事を考えることができれば、自分の行動を二方向から判断することになります。自分と相手に関わる人々（他者）にも我が身を寄せられれば、三方向ないしはそれ以上の方向から判断することになり、熟慮された言動になります。自分中心から相手や他者に我が身を寄せ、判断のよって立つ礎を幅と厚みのある確かなものにすることが必要です。

直接的な人権侵害の問題からは離れますが、ゴミ問題を例にして考えてみたいと思います。種類分け、水切、汚れ落とし等を厄介だ、面倒だと手抜きして出した時、収集する人や焼却する人、ゴミ置き場近辺の人が受ける迷惑は甚大です。資源になる物が公害の元凶にもなりかねません。ゴミに関わる大勢の人々に我が身を寄せた時、自分中心の、自分の都合を優先させた出し方には自ずとブレーキがかかります。

人権問題の改善は容易ではありませんが、しかし、ありふれた言葉である「我が身を寄せる」ことの大切さを改めて噛み締めたいと思います。